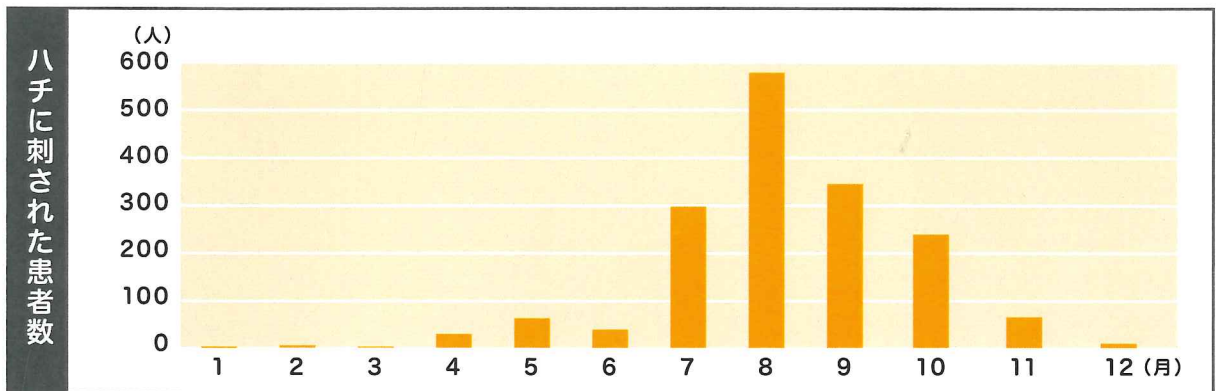




## これからの時期は蜂にご注意を

成人のハチアレルギー患者数は、スズメバチ：アシナガバチ：ミツバチ=6：3：1です。特に山林従事者ではスズメバチ，アシナガバチ，養蜂場やイチゴ栽培従事者ではミツバチによる刺傷事故が多いです。

年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
蜂刺傷による死亡者数								
男	16	11	18	19	9	20	16	9
女	4	5	4	5	5	3	3	4
計	20	16	22	24	14	23	19	13



### 【症状があらわれてから心停止まで約15分!!】



蜂毒に特有なのは反応時間が早い点で、蜂に刺されてからその多くは約15分以内には症状が出てきます。アナフィラキシーの症状が出てから心停止までの時間は15分という報告があり、速やかな治療が必要です。蜂毒にアレルギーがなければ、刺された箇所に軽い痛みやかゆみ、腫れなどが起こり(局所症状)、数日程度で消えていきます。

しかし、蜂毒にアレルギーがあると、刺された人の約10～20%が、全身のじんましんなどの皮膚症状や嘔吐、浮腫※、呼吸困難などが起こるアナフィラキシーを引き起こすといわれています。そのうち、数%は意識障害や急な血圧低下によるアナフィラキシーショックを起こすとされ、命に危険がおよぶ確率が高くなります。

### 【対処方法】

- ① 蜂の毒針を直ちに除去する ⇒ 毒針を強く押ししたり、深く押し込まないようにしましょう。
- ② 刺されたところは速やかに冷やしましょう。
- ③ 過去にアナフィラキシーショックを起こしたことがある、もしくは、起こす危険性があると思われる場合は、緊急時にそなえてアドレナリン自己注射薬【エピペン】を常に携帯しておくといでしょう。



過去に刺されたことがあるか分からないのでハチの抗体検査(採血)をしたい、過去に刺されたことがあるので自己注射薬【エピペン】を希望される等、どんなことでも御相談ください。